

平成27年 1月9日

報道関係各位

第3回いわて3Dプリンタ活用研究会開催のお知らせ

岩手県内における三次元造形技術を活用した高付加価値製品の開発等を促進するため、下記のとおり第3回研究会を開催することとしましたのでお知らせします。

つきましては、当日の取材についてよろしくお願ひします。

記

1 開催日時

平成27年1月16日（金）13:00～（開場・受付 12:30～）

2 開催場所

アイーナ いわて県民情報交流センター 会議室 803

3 対 象

研究会会員を中心とした県内企業・団体等

4 参加者

80名程度参加予定

5 開催内容

裏面のプログラムを参照願ひします。

【問合せ先】 岩手県立大学地域連携室 TEL 019-694-3330 新沼、槻ノ木 沢

第3回 いわて3Dプリンタ活用研究会

平成27年1月16日(金) 13:00～

アイーナ 会議室 803

1.基調講演 三次元造形技術の活用に関する研究内容等の紹介

◆13:00～13:55 基調講演(1) 国立大学法人電気通信大学 情報理工学部 教授 増田宏氏

テーマ「レーザ計測による大型構造物の3Dモデル生成技術」

近年の測量用のレーザスキャナは、広域のフィールドから短時間で高密度な3次元点群を取得できるようになった。また、レーザスキャナを車両に搭載することで、都市空間や道路周辺などの広域な3次元点群を取得することもできる。本講演では、そのようにして取得された大規模点群に基づいて、3次元形状モデルを作成する手法について紹介する。

◆13:55～14:50 基調講演(2) 東京工芸大学芸術学部 ゲーム学科 准教授 宮澤篤氏

テーマ「3Dプリンターで見る高次元の世界」

アートとテクノロジー、それに教育を加えた各専門分野の連携と、その重要性が認識されて久しい。この複合領域において、様々なゲームの技術やユーザビリティの考え方が貢献できることとは、一体何であろうか。本研究は、複素初等関数の可視化を例として、ゲームの技術やものの見方が、数学や物理学の視野を拡大するものにならないか、映像作品の制作を通じてクリエイターの視点から論じようとする試みであり、3Dプリンターの活用事例としても紹介する。

◆15:05～16:00 基調講演(3) いわてデジタルエンジニア育成センター センター長 黒瀬左千夫氏

テーマ「3次元デジタルものづくりの現状とこれから～3Dプリンタ時代のこれからの3Dものづくり～」

近年、3Dプリンタが脚光を浴びてきているが、本来それを活用してきた3D-CADを中核ツールとした3次元デジタルものづくりについての現状と、これからの展開の方向性、可能性について、3次元技術の人材育成、支援に特化した「いわてデジタルエンジニア育成センター」の業務内容、活動を通してわかった事を事例を交えて紹介する。

2.一般講演 三次元造形技術の活用事例等の紹介

◆16:00～16:30 一般講演(1) インフォコム(株) ヘルスケア事業本部 放射線システム営業部 高柳亮太郎氏

テーマ「インフォコムが提案する整形外科領域画像ソリューション 2D、3D画像処理と3Dプリンタの運用例について」

放射線フィルムレス運用における整形外科医からの不満を解決する為の2Dソリューションとして『iRad@-OT』と、現在、震災復興支援プログラムの一環として岩手県立大学や整形外科の先生方と共同研究を行い3Dソリューションとして開発を行っている「JointVision」について紹介。

◆16:40～17:10 一般講演(2) 丸紅情報システムズ(株) 製造ソリューション事業本部 菊地健一氏

テーマ「ストラタシス社3Dプリンタの最新情報」

2014年11月にドイツ・フランクフルトにて行われた「ユーロモールド」にて、初お披露目となった新しいラインナップの紹介。また機器の進化とは別に、3Dプリンタをいかに使いこなすかというもう一つのテーマにつき、最近の国内お客様状況を紹介。

◆17:10～17:40 一般講演(3) (株)キーエンス マーケティング事業部 塩崎暁氏

テーマ「国産3Dプリンタの技術、用途事例について」

多くのメディアで取り上げられ注目を浴びる3Dプリンタ。日本においても様々な業界で設計やデザインの確認をはじめ幅広いシーンで活用されている。MADE IN JAPANの3Dプリンタ『AGLISTA』の特長、実際に導入頂いている事例、導入による運用効果について紹介。